

谷藤利子の市政報告

発行責任者：谷藤利子 2007年12月20日発行 NO44 連絡先：谷藤携帯090・7250・7852
ホームページ：http://www.jcp-ichikawa.com/tanifuji/index.html 市役所334-1111内線4591

どんなことでもお気軽に
ご相談ください。



日本共産党
市川市議会議員
浦安市川市民病院議員

12月市議会

12月市議会は11月28日から12月13日まで行われました。党市議団として、国民健康保険税の引き下げを求める条例提案をするなど、公約実現に向けがんばりました。

後期高齢者医療制度の中止・撤回を

75歳以上年金から天引き 1万2100人が負担増に

来々4月から導入されようとしていた後期高齢者医療制度は、75歳以上のすべての高齢者を「後期高齢者」と呼んで、扶養になっていた方も扶養からはずし、夫婦といえども別々に月額1万5千円以上の年金から医療保険料を天引きで徴収し、さらには受けられる医療も制限しようとするものです。

負担増は2年ごとに 滞納すれば保険証 取り上げ!

最初は負担が増えなくても、高齢者や医療費の増加に合わせて2年ごとに保険料

を見直すことになっていくことや、国民健康保険滞納者約8000人は滞納分も合わせて払うことから、負担増は全員に向けられています。

無年金者など6千人は直接納付することになり、一年以上滞納すれば保険証を取り上げる制度です。高齢者へのこうした制裁は国保においても実施しなかった冷たい制度です。

今年の10月、日本一長寿・医療費もかかっていない長野県の佐久市立浅間病院を視察。



病院ロビーで、谷藤・清水・金子各市議員

全国の自治体病院の7割が赤字のなかで、医師の確保がしっかり行われ、市民参加型の保健医療サービスの充実で市民に言はれ、経営も安定していました。

保険証とり上げやめよ 制度の中止・撤回を!

この制度は県単位の広域連合で運営することから、「保険料の減免基準を明確にし、滞納者への保険証とりあげをしないよう広域連合に働きかけること。また、国に対して

制度の中止・撤回を働きかけるべきだ」と求めました。これに対し、「減免基準については自治体

加入している保険で 特定検診はじまる

来々4月から、後期高齢者医療制度導入にあわせて、メタボリックシンドローム対策を主とする特定健診・特定保健指導が始まります。

これまでの市の健診とはちがいが、加入している医療保険のなかで行うことになり、市がこれまで行っていた健診事業も大きく変わります。

病気の早期発見・早期治療としての検診は?

私は、「早期発見・早期治療としての検診はこれまで通り市川市が行うのか? 周知徹底のために対象者全員にハガキで通知するべきではないか」と質問しました。これに対し、「基本健診は特定健診の中で行い、各種がん検診は市川市の保健事業として続ける。周知は広報やホームページ、またハガキでも行う。」と答弁がありました。



市長室にて浅野副市長が対応

12月17日
岡田幸子県議と日本共産党市議団で
2008年度市川市予算要求で申し入れ
市政アンケートに寄せられた声など、2008年度の市川市の予算編成に向けて282項目の要望書を提出しました。また、国民健康保険税の引き下げ署名を提出し、懇談しました。

三番瀬の猫実川河口域（泥干潟）は豊かな環境という認識はあるか！



猫実川河口域の泥干潟

行徳沖の浦安に面する猫実川河口域は大潮時には約30ヘクタール以上の広大な干潟が広がります。

この泥干潟の環境をめぐって『死んだ海』『ヘドロ』などと環境悪化を強調し、市川市が中心となって自然再生の名のもとに、人工干潟を推進する議論がすすめられています。

命のゆりかご・水質浄化能力が抜群

私は12月議会一般質問で、「千葉県が2004年、05年に行った生物調査では、生物196種、植物15種、県のレッドデータブックに掲載されている希少種が11種類確認されている。ま

た、「市民調査の会」が2002年から続けている調査では、生物127種、植物10種、希少種6種が確認され、大きく広がるカキ礁や無数のアナジャコなど、水質浄化能力が大変高い生物が多く、『ヘドロ』どころか、こうした生物による水質浄化能力が高く、魚貝類の産卵と成育の場所『命のゆりかご』になっている。

環境省も湿地保全の国際条約であるラムサール条約に登録する環境条件を満たしていると認めている。三番瀬再生計画でも、『国際的な価値を持つ三番瀬』を行徳湿地とともにラムサール条約登録の促進をうたっている。この事実をきちんと認識しているか。」と問いました。

現状はそうでも危機的と

答弁に立った行徳支所長は、『現状は確かにそうだが、昔の環境と比べると危機

的だ』と述べ、『豊かな環境です』と言つ言葉は最後まで聞かれませんでした。

自然再生・環境学習施設は市有地で

また、「市有地を行徳湿地の海水交換のために開削して自然に戻すなどの自然再生を、またビクターセンターなどの学習施設を提案して欲しい。」と求めました。

これに対しては、「陸域・海城両方で自然再生を行いたい。環境学習施設もあわせて県の仕事になる。」との答弁がありました。

カキ礁・アナジャコの大切な役割



猫実川河口域に広がるカキ礁(左) アナジャコの巣穴(右)

カキがたくさん繋がったカキ礁にはたくさんの生物の産卵と生育の場所となり、アナジャコとあわせて水質浄化能力が大変すぐれていることがわかっています。

公立保育園の民間委託大論争

保護者の理解得られないまま議会に上程

公立の、宮久保保育園、市川南保育園、欠真間保育園3園の民間委託について、昨年は保護者の理解が得られなかったため一年延期して保護者と話し合いを続けてきました。しかし市は、話し合いは平行線だからと、ついに12月議会に上程しました。

「合意ないまま強行しないで！」の15000筆の署名が提出される

欠真間保育園を中心とする保護者は納得できず、「強行しないで欲

しい」と、陳情署名15000名分を提出しました。

党市議団として、私谷藤が本会議で市の問題点を指摘して質疑

- 1、市は、説明はいくらでもするが方針を変えることはないという一方的な姿勢を貫いたこと。
- 2、委託の是非を問うアンケートもやっておらず、合意したという客観的根拠がない。
- 3、委託園を選定する条件になっていた、耐震性があること要件も満たしていない。
- 4、この保育園を選択して入園し

たのだから、このまま継続して欲しいという要求の正当性は児童福祉法で保障されている。

5、財政難の説明をしているが、市川市の財政が健全化していることはきちんと説明していない。

反対討論するも、市案可決

常任委員会では保護者が終始傍聴するなか、賛否同数になり、委員長決済で市案が可決されました。

本会議では党市議団として金子貞作市議が反対討論を行いました。市案に反対は12人の少数で、賛成多数で可決されました。